

1日目 11月18日(金) ポスター会場 (12F)

ポスター1 「退院支援」

セッション 16:20 - 17:10

座長：原田 幸子 (福岡県難病医療連絡協議会)

- P1-1 CNT progressを通じた在宅指標ガイタックスの展望
佐藤慶史郎 (聖隷浜松病院 神経内科)
- P1-2 退院支援におけるソーシャルワーカーの役割～意思決定支援の重要性を考える～
上倉 緑 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 総合相談部)
- P1-3 在宅療養が困難となった筋萎縮性側索硬化症患者の療養病院移行支援
～退院支援看護師の役割～
花井亜紀子 (国立精神・神経医療研究センター病院 在宅支援室)
- P1-4 自立したパーキンソン病関連疾患患者への退院支援の取り組み
岩田 直美 (国立精神・神経医療研究センター病院 看護部)
- P1-5 高齢者世帯における人工呼吸器装着中の筋萎縮性側索硬化症患者の在宅療養に向けた支援
大野 正子 (岐阜大学医学部附属病院 看護部)

ポスター2 「ALS療養支援1」

セッション 16:20 - 17:20

座長：遠藤久美子 (東北大学病院 地域医療連携課 宮城県神経難病医療連携センター)

- P2-1 入院療養中の筋萎縮性側索硬化症患者による攻撃的・拒否的態度に対する看護チームとしての取り組み
小田恵美子 (微風会 ビハーラ花の里病院 看護部)
- P2-2 神経内科を標榜する療養型病床における神経難病患者の入院受入
織田 雅也 (微風会 ビハーラ花の里病院 神経内科)
- P2-3 ALS患者に対するテレナーシングの意義と活用の質的検討
申 于定 (東京都医学総合研究所 運動・感覚システム研究分野 難病看護プロジェクト)
- P2-4 療養型病床で短期入院を反復した筋萎縮性側索硬化症患者に対するケア対応
仲屋 美咲 (微風会 ビハーラ花の里病院 看護部)
- P2-5 自力での体動が困難でADLに介助を要するALS患者の欲求と入院時の対応
～症例を通して取決めを行うまで～
古川 愛子 (佐賀大学医学部附属病院 神経内科)
- P2-6 在宅療養中に高浸透圧高血糖症候群を呈した進行期ALS患者の検討
山田 恵 (岐阜大学 神経内科・老年学分野)

ポスター3 「難病療養支援」

セッション 16:20 - 17:20

座長：後藤 勝政（国立病院機構西別府病院 神経内科）

P3-1 岡山県におけるレスパイト入院事業の現状

鈴木 美穂（岡山県難病医療連絡協議会）

P3-2 レスパイトケアの位置づけに関する探索的文献検討

石黒 妙子（三重大学医学部 看護学科 基礎看護学）

P3-3 入院前訪問の効果と課題—レスパイト入院患者の満足度評価とQOL評価を実施して—

池田 枝里（セレス さっぽろ神経内科病院 地域連携部）

P3-4 筋萎縮性側索硬化症患者の主介護者に対する看護師の精神的サポートの姿勢—退院支援の進め方を通して—

佐藤 理奈（東京都立神経病院 看護科）

P3-5 石灰化を伴うびまん性神経原線維変化病（DNTC）を疑われた患者・家族の語りによる質的研究

井上 綾子（岐阜薬科大学 薬学部薬学科 薬物治療学）

P3-6 在宅で安心した生活を送るために～不安が強いパーキンソン病患者への訪問看護を通して～

柳谷 麻実（国立病院機構大牟田病院 看護部）

ポスター4 「コミュニケーション」

セッション 16:20 - 17:30

座長：木村 暁夫（岐阜大学医学系研究科 神経内科・老年学分野）

P4-1 透明文字盤の配色によるコミュニケーションスピードの違い

上原 和代（山北徳洲会病院 リハビリテーション科）

P4-2 健常成人における50音表記 透明文字盤でのコミュニケーション負担感の検討

西井 夏海（三重大学医学部 看護学科 基礎看護学）

P4-3 健常成人における文字盤の種類によるコミュニケーション速度と負担感の検討

眞鍋 岳男（三重大学医学部 看護学科 基礎看護学）

P4-4 健常成人におけるコミュニケーション内容と負担感の検討

牧 るい（三重大学医学部 看護学科 基礎看護学）

P4-5 神経難病医療ネットワーク事業におけるコミュニケーション支援の取組みと課題

橋本 英子（東京都医学総合研究所 難病ケア看護プロジェクト）

P4-6 筋萎縮性側索硬化症患者の拡大・代替コミュニケーション使用状況の検討
～AAC適合の支援について～

東垣 毅（公立八鹿病院 中央リハビリテーション科作業療法室）

P4-7 生体反応装置「心語り」と「MCTOS Model WX」をALS患者に対し活用した一症例～現在奮闘中～

有馬 直樹（社団芳英会 吉野内科・神経内科医院 リハビリテーション科）

ポスター5 「地域連携ネットワーク」

セッション 16:20 - 17:10

座長：高橋 正紀 (大阪大学医学系研究科 保健学専攻 機能診断科学講座)

P5-1 神経難病患者の在宅診療における電子連携システムの導入

日根野晃代 (信州大学医学部附属病院 難病診療センター)

P5-2 千葉県船橋市における「パーキンソン地域連携パス」導入の試み

星野 将隆 (船橋総合病院 神経内科)

P5-3 地域連携ネットワークの中で神経難病患者を支えていくために

浅川 孝司 (社団芳英会 吉野内科・神経内科医院 リハビリテーション科)

P5-4 難病患者在宅医療支援事業における神経筋難病患者の地域医療との関わり

井狩 知幸 (大阪大学医学系研究科 神経内科学)

P5-5 神経筋疾患専門病院における在宅療養患者への取組み

～在宅療養支援ネットワークと協働した地域主導型医療システムへの移行～

江黒 仁美 (東京都立神経病院 患者支援センター地域療養支援室)

ポスター6 「患者・連携支援データベース」

セッション 16:20 - 17:10

座長：立石 貴久 (飯塚病院 神経内科)

P6-1 岡山市における既小児慢性特定疾病受給者の現状把握

竹内ひかり (岡山市小児慢性特定疾病児童等相談支援センター)

P6-2 難病に関する臨床試験—臨床研究情報検索ポータルサイトの活用に向けて

湯川 慶子 (国立保健医療科学院 政策技術評価研究部)

P6-3 希少疾患における研究協力体制構築の試みについて

～再発性多発軟骨炎 (RP) 患者会の取り組みから～

加藤 志穂 (再発性多発軟骨炎 (RP) 患者会)

P6-4 筋強直性ジストロフィー患者登録 —登録データから見る診療実態の特徴—

松村 剛 (国立病院機構刀根山病院 神経内科)

P6-5 メディカルスタッフの人材育成を介して行う次世代型包括的神経難病診療体制構築事業

高松孝太郎 (熊本大学医学部附属病院 神経内科 メディカルスタッフの人材育成を介して行う次世代型包括的神経難病診療体制の構築事業)

ポスター7 「病状評価・QOL・リハビリ(1)」

セッション 16:20 - 17:20

座長：長嶋 和明 (群馬大学医学部附属病院 脳神経内科)

P7-1 在宅療養パーキンソン病患者における転倒の実態と傾向

広田 綾乃 (社団松涛会 安岡病院 リハビリテーション科)

P7-2 低酸素脳症を合併したALS患者に対する訪問リハビリ時の対応～在宅で行える呼吸機能に対する評価と理学療法～

加藤 俊光 (社団芳英会 吉野内科・神経内科医院 リハビリテーション科)

P7-3 侵襲的陽圧換気療法中の筋萎縮性側索硬化症患者の肺合併症が動的肺コンプライアンスおよび気道内圧に及ぼす影響について

米田 正樹 (公立八鹿病院 中央リハビリテーション科)

P7-4 多系統萎縮症における突然死例の検討

伊藤 英樹 (拓海会 神経内科クリニック)

P7-5 ALS患者のQOL向上のための取り組み～布マスクによるコミュニケーション生涯の改善～

北島早矢香 (国立病院機構嬉野医療センター 看護部)

P7-6 体位変換の見直しによる排痰効果の検討 ～人工呼吸器を長期装着しているALS患者を対象に～

宮間 希 (国立病院機構三重病院 看護部)

ポスター8 「リハビリ(2)」

セッション 16:20 - 17:30

座長：村田 顕也 (和歌山県立医科大学 神経内科学講座)

P8-1 短期集中リハビリテーションにより姿勢の改善がみられたパーキンソン病患者の一例

研谷 友範 (微風会 ビハーラ花の里病院 リハビリテーション科)

P8-2 筋萎縮性側索硬化症患者の気管切開周術期での理学療法の経験-歩行再獲得を目指して

今川 隆太 (公立八鹿病院 中央リハビリテーション科)

P8-3 当院 (療養型病床) における筋萎縮性側索硬化症・TPPV患者の離床の状況

三嶋 亜弓 (微風会 ビハーラ花の里病院 リハビリテーション科)

P8-4 脊髄小脳変性症患者に対する言語聴覚療法～ペーシングボードの導入を経験して～

上垣このみ (公立八鹿病院 中央リハビリテーション科)

P8-5 訪問看護師と訪問療法士の神経難病患者の呼吸リハビリテーションにおける排痰・吸引に対する認識の違い

大杉 花 (拓海会 訪問看護ステーション 訪問看護)

P8-6 感情の言語化を活用したリハビリテーションアプローチ～ALS患者を通じたチームでの連携～

丹羽 達貴 (各務原リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

P8-7 気管切開術後の筋強直性ジストロフィー患者における布マスク (Sleep Weaver Mask) 装着によるBIPAPの経験例

田畑 絵美 (国立病院機構嬉野医療センター 神経内科)

ポスター9 「介護・災害」

セッション 16:20 - 17:20

座長：田中 優司（愛知教育大学 健康支援センター）

P9-1 神経難病患者の在宅療養における介護負担の特性

波江野茂彦（拓海会 神経内科クリニック 神経内科）

P9-2 複数のハンチントン病患者のキーパーソンである介護者の支援について

平田 京子（社団玄同会 小島病院 地域連携室）

P9-3 『災害時対応ハンドブック2014年版』活用状況調査と課題について

関本 聖子（東北大学病院 地域医療連携課・宮城県神経難病医療連携センター）

P9-4 医療依存度の高い在宅難病療養者の災害対策

堀江孝太郎（愛知県半田保健所 健康支援課）

P9-5 東日本大震災直後と5年後に調査した重症難病療養者の災害対策の比較

田中 優司（愛知教育大学 健康支援センター）

P9-6 神経筋疾患の在宅療養者に対する災害時の取組み

～専門病院と訪問看護ステーションの日常的なネットワーク～

白子 千春（東京都立神経病院 患者支援センター地域療養支援室）

ポスター10 「その他」

セッション 16:20 - 17:10

座長：堀田みゆき（岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター 看護部）

P10-1 新たに追加された指定難病に関するネットワーク構築の取組みについて

～筋ジストロフィーに関する訪問学習会の開催報告～

大平 香織（国立病院機構青森病院 地域医療連携室）

P10-2 パーキンソン病患者の補完代替医療の利用状況

湯川 慶子（国立保健医療科学院 政策技術評価研究部）

P10-3 就労可能な難病患者における共通特性の検討

石田 光代（伊月病院 医療情報部）

P10-4 神経内科診療所における神経難病患者および家族の疾患知識

大木 剛（社団三結会 みつば脳神経クリニック）

P10-5 神経難病療養者の意思決定支援に苦慮する訪問看護ステーションへの難病拠点病院による出前式事例検討会の効果

堀田みゆき（岐阜大学医学部附属病院 看護部 医療連携センター・難病医療連絡協議会）